

神戸新開地・喜楽館 落語観賞会の実施報告

「神戸新開地・喜楽館」では初めての落語鑑賞会を、1月27日（土）午後開催致しました。全国で大雪のニュースがある中、幸い寒さが少し緩んだ日、ご家族ご友人含め17名が参加されました。

神戸新開地駅を出てすぐ近く、「ドンドンドンと来い」と聞こえるように叩かれる一番太鼓に迎えられ、中程の見やすい席で落語を楽しむことが出来ました。

昼席は、喜楽館のメインとなる定席寄席公演で、出演者は前座さんプラス6人の落語家、1組の色物（漫才・マジック・歌謡など）で構成されています。

今回の出演者は、桂 福留／露の 新幸／桂 雀五郎／大森くみこ（活動弁士）／林家 菊丸（仲入り）笑福亭 由瓶／桂 治門／桂 文太の演者の皆さん。林家菊丸師匠は、珍しく少し色気のある創作落語を（枕にもあったように本来は古典落語の落語家さん）、トリは、持ちネタの数が豊富で有名な桂 文太師匠、視力障害があるのもわからないほどの熱演でした。

最後に、全員の集合写真を撮っていただきました。

落語鑑賞の後だけあって、とてもすてきな笑顔の集合写真です。



一番太鼓 バチで“入”の字



出演者と演目



参加者の皆さん（上段左端より時計回りで）

入田泰壽さん、西田義男さん、友國健司さん、岡野光成さん、西野信夫さん、
湊口衛さん、八塚康憲さん、西村元信さん、有賀清隆さん、酒本 猛さん、
吉田達司、西村さんご友人、篠崎千昭さん、植村由美子さん、友國さん奥様、
吉田の奥様と友人

（報告：吉田達司）